

■ 駅周辺の景観づくりのテーマ(案)

駅周辺は中心市街地として地域の人々が日常的に集い、来訪者が行き交うことから、誰もが過ごして楽しく、憩い、またここに来たいと思える空間づくりを目指します。また、地域の人々などが交流する中で互いに思いやりを持ち、景観づくりに取り組むことを目指して、駅周辺の景観づくりのテーマ案を以下とします。

「人々の交流の中で生まれるにぎわいと憩い、おもてなしを感じる駅周辺の街なみ」

< 駅周辺のイメージ >

- ・ 人々が快適に暮らし、行き交う
- ・ 倶知安町を特徴づける羊蹄山やニセコ連峰への眺望
- ・ 地域の人々が集い、交流・活気のある
- ・ 来訪者がおもてなしを感じる

■ 駅周辺の景観形成の方針(案)

駅施設（新幹線駅舎、在来線駅舎、町が整備する利便施設）・駅前広場の方針

羊蹄の四季の恵み ～ ふるさとの風景と玄関口にふさわしい潤いのある空間～

駅施設（新幹線駅舎、在来線駅舎、町が整備する利便施設）について

● 自然と調和し“羊蹄の四季の恵み”をキーワードとしたデザイン

- ・ 「羊蹄山」の持つシンボル性、安心感、美しさ、雄大さがイメージされ、自然と調和しながらも、洗練された印象を与えるデザインとする。
- ・ 新幹線駅舎と町が整備する利便施設が一体性のあるデザインとする。

● 駅前通との連続性とワイスホルンの眺望への配慮

- ・ 駅前通は駅施設へ視線がまっすぐ抜けるため、駅前通から見た際に駅施設が地域を印象付けるように配慮する。
- ・ 同時に、駅前通との連続性や旭ヶ丘丘陵・ワイスホルンへの眺望に配慮した、駅舎の形状や意匠とする。

● 羊蹄山やニセコ連峰の眺望への配慮

- ・ 町を特徴づける羊蹄山やニセコ連峰への駅施設からの眺望に配慮し、展望室などの視点場の確保を検討する。



駅前広場（東側）について

● 利便性が高く人の動線を考慮した空間づくり（交通広場）

- ・ バスやタクシーなどの乗降など、利用者にとって利便性の高い人の動線と待合環境を考慮した空間づくり。

● 羊蹄山への眺望と緑の演出によるおもてなしの雰囲気への創出（多目的な憩いの空間）

- ・ 緑や花などによる潤いを感じるおもてなしの空間づくり。
- ・ 羊蹄山への眺望が確保されるよう、工作物や植栽の高さや設置位置への配慮。

● 人々が滞留し非日常の賑わいが生まれる空間づくり（多目的な憩いの空間）

- ・ ベンチの設置などにより駅を歩き交う人々が心地良く滞留できる空間や、四季を通したイベントの実施など非日常的な賑わいが生まれる空間づくり。

● 駅前通りへ人々を導く空間づくり（交通広場・多目的な憩いの空間）

- ・ 駅前通りとの連続性の創出により、賑わいのある駅前通りへの人々を導く。

駅前広場（西側）について

● くとさんパークと連動し山並みへの眺望を大切にした空間

- ・ 送迎、一般用の乗降、一般車用の駐車場を配置した交通広場と、くとさんパークが連動した豊かな自然や地域資源を印象付ける空間づくり。
- ・ ニセコ連峰など山並みへの眺望に配慮した、緑や花の配置による潤いの創出
- ・ 道道倶知安ニセコ線とメルヘン通りを結ぶアクセス道路の整備にあたり、無電柱化を検討する。

左右の軸（西3丁目通り）の方針

駅前広場と一体感のある おもてなしを感じる街なみ

● 駅前広場と一体となった空間形成

- ・ 緑化や歩行空間の設えへの配慮などによる、駅前広場と一体となった空間づくり。
- ・ 無電柱化の検討。

● 国際リゾートの玄関口となるおもてなしの街並みづくり

- ・ 緑化による潤いの創出や、駅舎からの眺望確保のための屋外広告物の掲出への配慮や、建物の配置や形状への配慮による、おもてなしの街並みづくり。



国道5号の方針

都市のにぎわいと潤いのおいが調和した沿道の街なみ

● 屋外広告物に対する街並みとの調和

- ・ 屋外広告物の形状や意匠は、周辺の街並みとの調和に配慮。

● 緑化による潤いのおいの創出

- ・ 植樹柵や沿道店舗周り、駐車場などの緑化を推進し、修景や潤いのある沿道景観を創出。

● 国道5号と駅前通の結節点の魅力づくり

- ・ 誘導サインや植栽などにより、国道5号から駅前通りへ誘導する重要な結節点の魅力ある街並みづくり。



正面の軸（駅前通り）の方針

歩く楽しみを感じて集まり にぎわい広がる駅前通り

● 安全・安心で分かりやすい歩行空間の確保

- ・ 楽しく歩いて巡れるよう、四季を通した安全・安心な歩行空間を確保。
- ・ 通り名や案内サインの設置による人々の誘導。

● 空への広がりのある明るい道路空間の確保

- ・ 圧迫感の少ない現在のまちなみを活かし、中高層（4階以上）の建物はセットバックさせ、スカイラインを確保。
- ・ 空への開放感を創出する無電柱化の検討。

● 歩行を促す賑わいがあり居心地の良い空間づくり

- ・ 緑や花、ベンチ、オープンカフェ等の設置による人を呼込む店構えに配慮。
- ・ 建物の低層部は町民の日常生活に対応した用途を誘導し、良好な歩行空間を創出する形態や意匠、緑化に配慮。
- ・ 建物の出入口は可能な限り駅前通に面することで、賑わいや個性の外へのにじみ出しを創出。
- ・ 駐車場は可能な限り駅前通側に設けず、やむを得ない場合は緑化などで修景に配慮。

● 統一感のある街並みづくり

- ・ 屋外広告物は形状や色彩、取り付け方に配慮し統一感のある街並みを創出。



その他駅周辺について

● 歩行者が楽しめる通りごとの個性の創出

- ・ サインの設置や通り名の検討などにより、通りごとに個性を引き立たせ、歩いて楽しい歩行空間の創出。

● メリハリのある街区・通りごとのあり方の検討

- ・ 市街地街区の南側は、羊蹄山の眺望に配慮した建築意匠や配置の検討。
- ・ 北側は宿泊施設など比較的高層の施設について、周辺の住環境への配慮を踏まえた配置誘導を検討。
- ・ （仮称）倶知安ICと国道5号を連絡する南3条通りは、交通需要の増加による建物更新を見据え、秩序ある街並みとする。
- ・ メルヘン通りは連続性のある工作物や周辺の住環境と調和した、落ち着いた街並みとする。

● 事前協議の場の設置

- ・ ある程度の規模のものを建設しようとする場合は「（仮）駅周辺景観協議会」のような場を設けて事前協議をしながら、合意を取りつつ建設を進められるような仕組みの検討。

● その他

- ・ 歴史的で味わいがある石蔵倉庫の活用への期待。

■市街地全体の景観形成の方針(案)

市街地全体の景観形成の方針図

●羊蹄山やニセコ連峰の眺望への配慮

- ・町を特徴づける羊蹄山やニセコ連峰への駅施設からの眺望に配慮し、展望室などの視点場の確保を検討する。

●利便性の高い人の動線を考慮した空間

- ・自家用車やバスなどの乗降など、利用者にとって利便性の高い人の動線と待合環境を考慮した空間づくり。

●羊蹄山への眺望と緑の演出によるおもてなしの雰囲気創出(多目的な憩いの空間)

- ・緑や花などの設置。
- ・工作物や植栽の高さや設置位置への配慮。

●人々が滞留し非日常の賑わいが生まれる空間(多目的な憩いの空間)

- ・ベンチの設置などにより滞留できる空間や、イベントなどの非日常的な賑わいが生まれる空間づくり。

●その他

- ・石蔵倉庫の活用への期待

●メリハリのある街区・通りごとのあり方の検討

- ・市街地街区の南側は、羊蹄山の眺望に配慮した建築意匠や配置の検討。
- (仮称) 俱知安ICと国道5号を連絡する南3条通りは、交通需要の増加による建物更新を見据え、秩序ある街並みとする。

●駅前通との連続性とワイスホルンへの眺望への配慮

- ・駅舎が地域を印象付けるように配慮。
- ・駅前通との連続性や旭ヶ丘丘陵、ワイスホルンへの眺望に配慮した、駅舎の形状や意匠とする。

都市のにぎわいとうるおいが調和した沿道の街並み

●屋外広告物に対する街並みとの調和

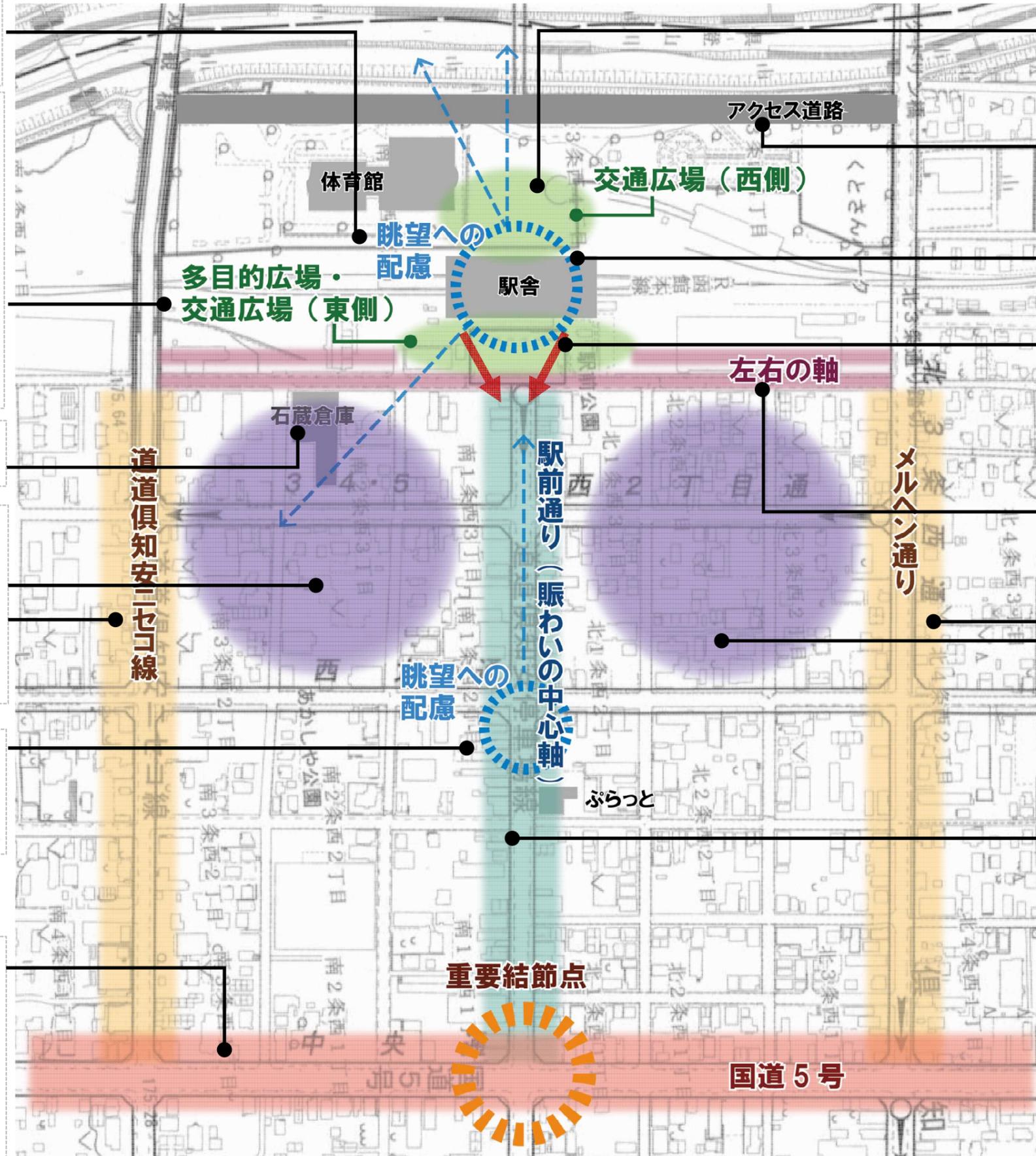
- ・屋外広告物の形状や意匠は、周辺の街並みとの調和に配慮。

●緑化によるうるおいの創出

- ・植樹帯や沿道店舗周り、駐車場などの緑化を推進

●国道5号と駅前通の結節点の魅力づくり

- ・誘導サインや植栽などにより、国道5号から駅前通りへ誘導する、重要な結節点の魅力ある街並みづくり。



●くとさんパークと連動し山並みへの眺望を大切にした空間

- ・くとさんパークと連動した豊かな自然や地域資源を印象付ける空間づくり。
- ・山並みへの眺望に配慮した、緑や花の配置。

- ・無電柱化の検討

●自然と調和し“羊蹄の四季の恵み”をキーワードとしたデザイン

- ・「羊蹄山」がイメージされ、自然と調和しながらも、洗練された印象を与えるデザイン。
- ・新幹線駅舎と町が整備する利便施設が一体性のあるデザインとする。

●駅前通りへ人々を導く空間づくり

- ・駅前通りとの連続性の創出により、賑わいのある駅前通りへの人々を導く。

駅前広場と一体感のある おもてなしを感じる街並み

●駅前広場と一体となった空間形成

- ・緑化や歩行空間の設えの配慮。
- 国際リゾートの玄関口となるおもてなしの街並みづくり
- ・緑化による潤いの創出、屋外広告物の掲出への配慮や、建物の配置や形状への配慮。
- ・無電柱化の検討

●メリハリのある街区・通りごとのあり方の検討

- ・北側は比較的高層について、周辺の住環境への配慮を踏まえた配置誘導を検討。
- ・メルヘン通りは連続性のある工作物や周辺の住環境と調和した、落ち着いた街並みとする。

歩く楽しみを感じて集まり にぎわい広がる駅前通り

●安全・安心で分かりやすい歩行空間の確保

- ・四季を通した安全・安心な歩行空間を確保。
- ・通り名や案内サインの設置による人々の誘導。
- 空への広がりのある明るい道路空間の確保
- ・中高層(4階以上)の建物はセットバックさせ、スカイラインを確保。
- ・無電柱化の検討。

●歩行を促す賑わいがあり居心地の良い空間づくり

- ・緑や花、ベンチ、オープンカフェ等の設置。
- ・建物の低層部は町民の日常生活に対応した用途を誘導し、良好な歩行空間を創出する形態や意匠、緑化に配慮。
- ・建物の出入口は可能な限り駅前通に面する。
- ・駐車場は可能な限り駅前通側に設けず、やむを得ない場合は緑化などで修景に配慮。

■市街地全体の景観形成の方針(案)

イメージスケッチ

●駅前通りの景観形成の方向性に配慮したイメージスケッチ

緑化空間と一体的な休憩スペースの演出(新設建物)

落ち着いた雰囲気のある屋外広告物

上層部をセットバックし、
圧迫感を軽減した建物

低層部と高層部の外壁色
を変え、圧迫感を軽減し
た建物

設置高さや彩度を揃えた
屋外広告物

低層部の軒高を合わせる
ことにより連続性を演出

目線に入る高さにおける壁面緑化や木などの自然素材の利用、バルコニーでのプランター設置により潤いを演出し圧迫感を軽減したしつらえ

山並みへの眺望に
配慮した建物高さ

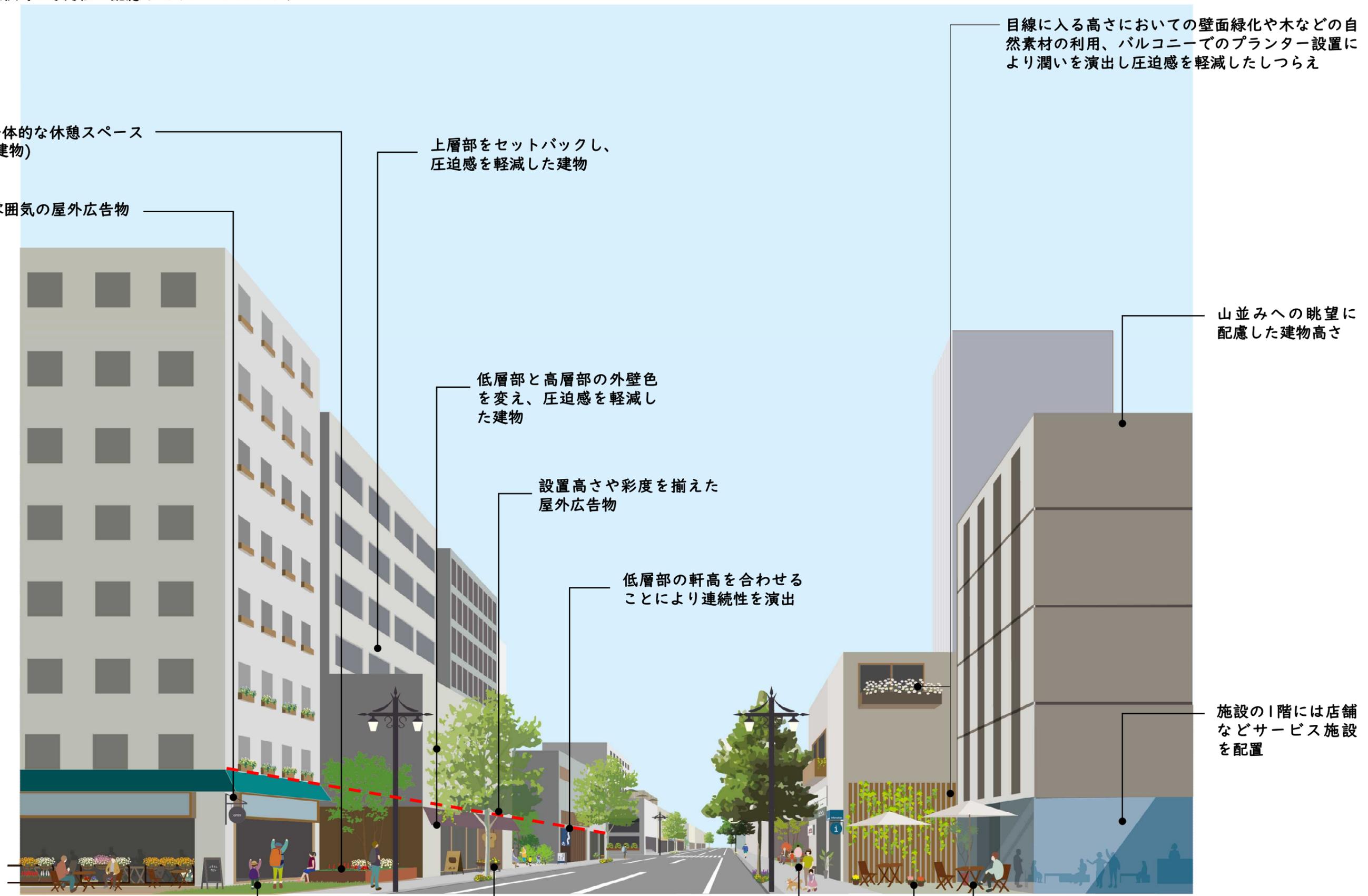
施設の1階には店舗
などサービス施設を
配置

オープンスペースの確保
(建物のセットバック)

緑化空間の演出
(既存建物)

ベンチ等の休憩施設の設置
による演出(既存建物)

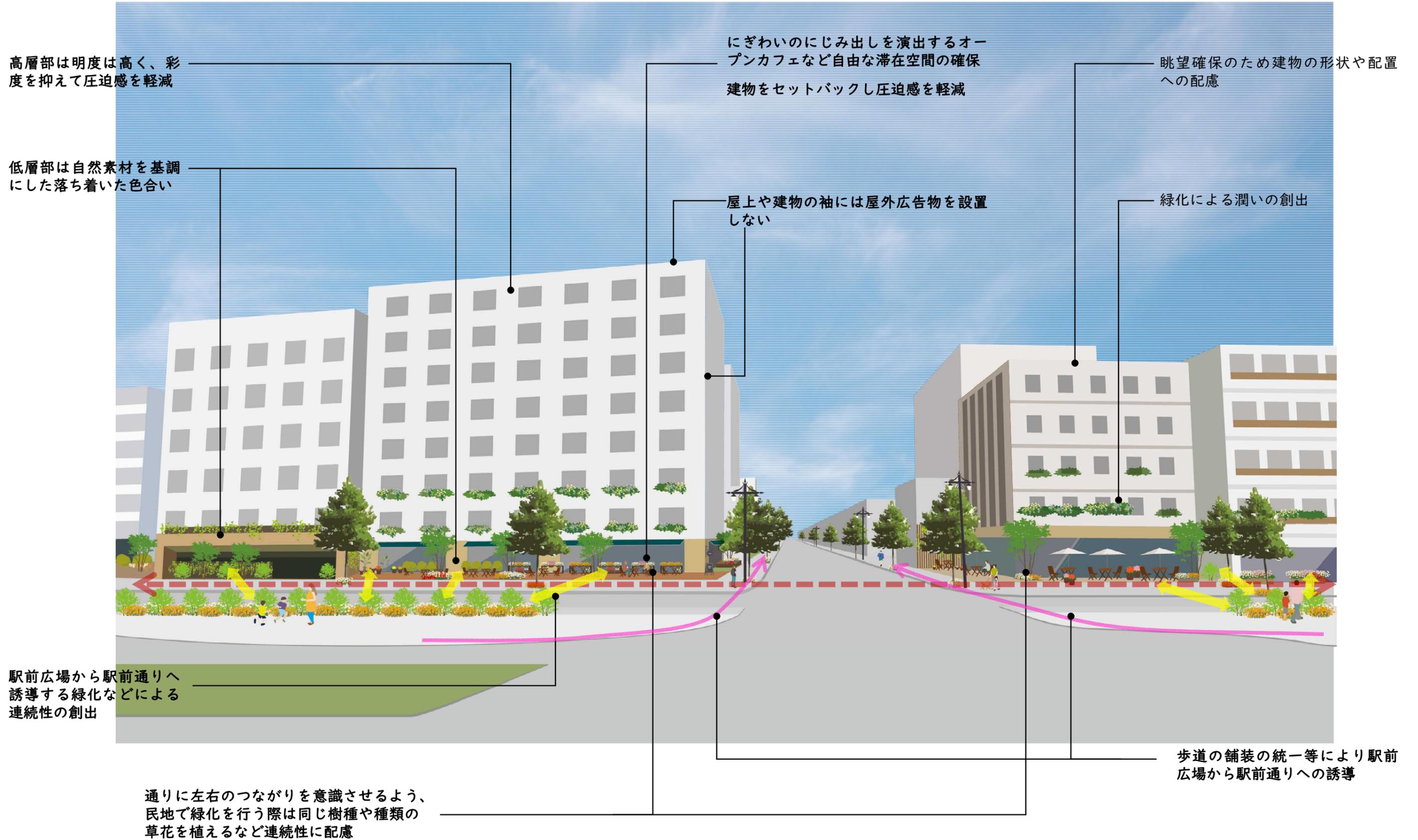
にぎわいのにじみ出しを演出するオープンカフェなど自由な滞在空間の確保



■市街地全体の景観形成の方針(案)

イメージスケッチ

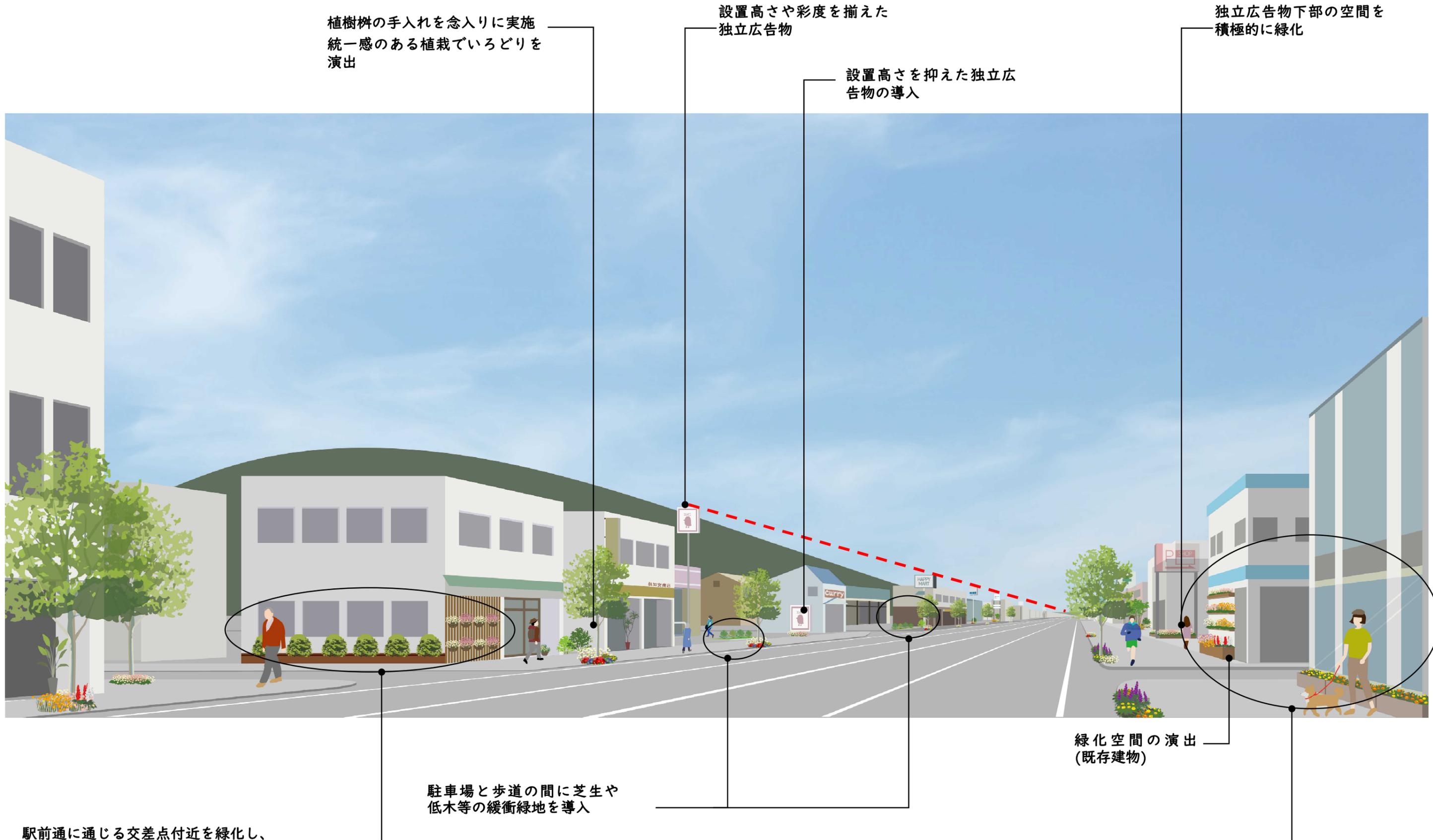
●左右の軸の景観形成の方向性に配慮したイメージスケッチ



■市街地全体の景観形成の方針(案)

イメージスケッチ

●国道5号の景観形成の方向性に配慮したイメージスケッチ



駅前通に通じる交差点付近を緑化し、
駅前通りに誘導する街並みづくり